

特集

糖尿病の自己管理をサポートする

腎症、動脈硬化症などの重い合併症につながりかねない糖尿病の最新知識を紹介した10月号。引き続き11月号では、糖尿病患者の自己管理を上手にサポートしていくことに焦点をあてて特集します。

在宅療養で起こる問題と、必要なサポート 魚里明子

持続する、上手な食事療法のすすめかた 加藤則子

合併症を防ぐために、介護度に合わせたサポートを考える 宗廣由美

糖尿病の自己管理と家族のケア 谷崎幸枝

糖尿病患者のフットケア——訪問看護・介護に必要な知識と方法 大倉瑞代

■特別記事

コムスン問題から見たメディアリテラシー 尾崎雄

地域包括支援センターの実態調査によって明らかになったこと 菊地和則

■研究報告

地域在住高齢者の転倒の危険性について

——認定調査、転倒に対する心理状態からわかること 松嶋美正

■連載

時間を忘れて 天方晴子／訪問看護時時刻々 石田昌宏／訪問看護師に必要な口腔ケアの知識 角

保徳／もの忘れを補うモノたち—簡単な道具と機器を利用した認知症患者の日常生活支援 安田清

／大牟田発！地域の縁側で認知症ケア 牧坂秀敏／わたしのことをわたしから 小中一輝／在宅で

療養するがん患者と家族のためのケアの手引き 福井小紀子／ほんとの出会い 岡田真紀／わが憧

れの古い 服部祥子／萌黄色のハンカチーフ 赤川次郎

編集後記

●暑い暑い8月でした。あまり冷房を使用しない主義の私もつい涼しさの誘惑に負けてしまい、17年ぶりに東京電力が実施した電力需給調整に役買ってしまった。電力いらずの涼しさとしては風鈴の音がそれを運んでくれるような気がします。うだるような暑さのなか聞こえてくるその音色。実際はもわっとした暑い風だったとしてもその一瞬だけ涼風を感じられるのはなんとも不思議なものです。今号の『もの忘れを補うモノたち』ではICレコーダーからの音楽出力が取り上げられていましたが、音のもつ力を改めて実感した夏でした。……富岡

●昔撮った家族ビデオを見ていたら、母親が主治医から「血圧が高いって言われた」と話している。私は「ふうん…」と、気のない返事をしている。何これ～！と、無知で無責任な自分に怒りがこみ上げてきました。その会話から半年後、母親は脳梗塞に倒れ、車いすの生活となりました。すでに他界しましたが、日ごろ、高血圧や脳梗塞という言葉は耳にしている、それがどういふことなのか本当にはわかっていなかった私は、母親にその一部始終を教えてもらったと思っています。次号特集も糖尿病です。……………伊藤

訪問看護と介護 第12巻 第10号 2007年10月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2007, Printed in Japan
1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめり予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。